

緊急特集 「STOP・ザ・交通事故」

交通死亡事故が止まらない

11月16日現在の市内の交通事故死者は15人。昨年と同じ時期に比べ12人も多い異常事態となっています。10月末日時点の警察庁の調査では、この人数は、全国の主要都市でワースト2位であることが分かりました（人口10万人当たりの死者数で比較）。

高齢者の事故が多発
ことしの市内の交通事故件数は477件（10月末日現在）。死亡事故に至らない事故も含め、昨年同期比で23件増加しています。市内の事故の特徴は、亡くなった方のうち65歳以上の高齢者が15人中11人と非常に高い割合になっていることです。うち、国道4号などの幹線道路の横断中の事故が多くなっています。

車はもちろんですが、歩行者・自転車の自動車に対する安全確認意識が十分なものかどうか、いま一度確認してみましよう。交通事故を防ぐためには、車の運転手、自転車利用者、歩行者の道路を使うすべての人がルールを遵守することが重要です。これ以上悲しい思いをする人を増やさないためにも、道路を利用する人は、お互いに思いやりのある行動をすることが大切です。

これからの時期は1年で最も夕暮れが早まることもあり、例年交通事故が多発しています。これ以上悲惨な事故を起こさないために、普段の交通安全意識が十分かどうか、この機会に改めて見直してみましよう。

歩行者も安全意識の向上を
事故を総合的に判断すると、自動車、歩行者・自転車それぞれがお互いに注意していれば防げた事故がほとんどです。自動

問い合わせ 本庁市民環境企画室（内線127）、水沢警察署（☎0110）、江刺警察署（☎0110）

緊急インタビュー

水沢警察署 交通課 課長 高橋敏樹 さん

「高齢者は安全の再確認を」
市内の死亡事故の特徴を分析すると、高齢者が関係する事故が圧倒的に多くなっています。高齢者の事故防止には「自らが交通安全に対する意識をもっと高めてもらうこと」と「家族や地域の身近な人の事故防止に対する気配り」が重要です。また警察署では、地域などで主催する交通安全講習会などに警察官を講師として派遣しています。積極的に活用し、交通ルールや安全意識の再確認をしてもらいたいと思います。

交通事故死亡者数（19年1月～11月16日）

水沢	江刺	前沢	胆沢	衣川	合計
6人	4人	2人	3人	0人	15人



今すぐ実践！
交通事故防止のポイント

◎**運転手** ↓ ライトの早め点灯を実践しましよ！：ライトを点灯することは、自分の運転する車の存在を歩行者や自転車に早く気付いてもらう効果もあります。夕暮れが早くなるこれからの時期は特に効果的です。

また、早め点灯を実践することにより運転者自身の安全運転意識の高まりも期待できます。

◎**歩行者・自転車** ↓ 夜光反射を積極的に着用しましよ！：夜間、運転手側からは、歩行者になかなか気付きにくいものです。夜光反射材を着用することで自分の存在を、周囲に早く気付かせる効果があります。